

失礼いたします。皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和4年第1回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

さて、昨年11月30日に感染力が非常に強いオミクロン株の感染が国内ではじめて確認され、12月下旬からは市中感染とみられる感染が全国各地で確認されるとともに、年明け以降、これまでにない極めて速いスピードの感染拡大が続いております。1月27日からは、全国34都道府県に「まん延防止等重点措置」が適用され、更なる拡大が憂慮される状況が続いております。

広島県では、1月9日から、本市を含む10市3町において、1月14日からは、県内全域が「まん延防止等重点措置」の適用を受け、公共施設の休館やイベントの中止など対策に取り組んでおります。しかしながら、本市においても、1月の感染確認は、わずかひと月で270人に上っております。

今後についても、現時点で予断を許さない状況にあり、県内では、医療機関、高齢者施設、学校などでクラスターが相次いで発生していること、中高年への感染の広がりや大都市圏における感染の急拡大に注意を払う必要があることなど、対策期間も2月20日まで延長をされております。

この間、江田島市で生まれ、江田島市で育ち、未来に大きく羽ばたかんとする新成人の皆さんをお祝いする大切な成人式は、延期とさせていただきました。また、本市の防災を最前線で担って頂いております消防団員、防災関係機関の皆様などに感謝の言葉をお伝えする出初め式も中止とさせていただきました。

コロナ禍にありますこの2年間、市民の皆様が楽しみにし、関係機関、関係者の皆様が準備に御尽力していただいた数多くの大切な行事等が中止や延期となりました。大変に心苦しく、残念な事であります。

しかしながら、コロナ禍による行事の中止や延期は、何気ない日常の中で人と人とが交流し、互いに言葉を交わすことができる尊さを見つめなおす機会を、私たちに与えてくれているのだと感じました。普段、何気ない生活の中で交わす言葉「ありがとう」や「おめでとう」から生まれる心の交流の大切さを教えてくれる、このことを日ごとに強く感じております。

このような中、オリーブが結ぶ、とても素敵な出来事が三つございました。

一つ目は、1月27日の中国新聞で紹介をされました呉特別支援学校江能分級の皆さんの取組でございます。

江能分級では、児童・生徒の皆さんに平成29年から、オリーブの木10本を育てていただいております。今季は過去最多の約80キロの収穫がありまして、これを搾ったオイルを、本市の学校給食用として寄附頂いたことが紹介されたものでございます。

「大切に育てたオリーブがおいしいオイルになって、多くの人に味わってもらえるのはうれしい」という高等部3年の笥本奏音(といもと かなと)さんのコメントも掲載されておりまして、たいへん嬉しく温かい気持ちになることができました。

二つ目は、昨年12月18日に開催をされました「地域探究プログラム・中国ブロック発表会」で、大柿高校1年生の出口若菜さんが、「オリーブの力で、江田島市を盛り上げたいけん」というテーマで、地域活動体験を発表し、優秀賞を受賞されたことであります。

出口さんには、島内で、オリーブを栽培する方、ボランティアの方、オリーブに関心を持ってくれる方など、人と人との橋渡しをしたい、ちょっとしたことを積み重ね、みんなで協力して江田島市を盛り上げていきたいと、意気込みを発表していただきました。

そして、三つ目は、「広報えたじま」でございます。

今月2月号の「広報えたじま」では、全日本フィギュアスケート選手権の表彰式で、本市のオリーブ冠をかぶり素敵な笑顔を見せてくれました坂本花織選手が表紙を飾ってくれております。この坂本選手のオリーブ冠には、これまで本市でオリーブ栽培に携わった方々の歴史や思いが刻まれている、そう思うとオリーブ冠がとても誇らしく、広報を手にした時、とても幸せな気持ちになりました。

本市がオリーブの栽培、ブランド化に取り組をはじめて11年目を迎えております。オリーブの花言葉は、「知恵」「安らぎ」「勝利」。そして、「平和」の象徴でもございます。児童・生徒の皆さん、市民の皆様の小さな取組の積み重ねが、江田島市がより良くなる、素敵な笑顔をつなぐ架け橋になる、改めて、市民の皆様、お一人お一人の営みが紡ぎだす喜びや感動の素晴らしさを認識いたしました。

私たち、市役所の使命は、市民の皆様の喜びを増やすこと、悲しみを減じることです。この使命を、私自身が先頭に立って、全職員が一丸となって果たすことが出来ますよう精進してまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時特別給付金等の補正予算をお願いしているところでございます。

何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、12月開会の定例会以後の市政の主な事柄につきまして、報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ, 1 項目め, 「災害時における物資 (ユニットハウス等) の供給に関する協定の締結について」でございます。

令和3年12月17日, 三協フロンテア株式会社様と江田島市の2者による「災害時における物資 (ユニットハウス等) の供給に関する協定」の調印式を, 市役所で行いました。

本協定は, 大規模な災害が発生し, 市の保有する施設・物資だけでは災害対応が不十分となった場合に, ユニットハウス等の物資を円滑に調達することができる体制を確立するものでございます。

今後も, 各種防災協定の締結などを通じて, 「災害に強く, 安全で, 安心して暮らせるまち」を目指してまいります。

他の項目につきましては, 報告書のとおりでございます。

以上で, 報告を終わらせていただきます。